

【開催案内】東日本支部講演会・ウェビナー：テーマ「サーキュラーエコノミー」

演題：三井化学のバイオマス・リサイクルの取組み～世界を素からかえていく～

講師：三井化学(株) グリーンケミカル事業推進室 ビジネス・ディベロップメントグループ 松永有理 氏

日時：2025年9月12日(金)15:00～16:30

会場：日本自動車部品工業会 701会議室

〒108-0074 東京都港区高輪1-16-15 部品会館7F

アクセス <https://www.japia.or.jp/access/>

Web参加の場合：Zoomのウェビナーを使ったライブ配信セミナー



Mitsui Chemicals

お申込みについて 視聴をご希望の方は以下の参加申込フォームから必要事項をご入力ください。

参加申込フォーム：<https://www.japia.or.jp/koenkai250912/mitsui/>

申込〆切：9月5日(金)まで

会場参加16名／Web参加500名 ※定員に達した場合は募集を終了させていただきます。

Web参加の方にはご登録をいただいたメールアドレスへ前日までに視聴URLを送信します。

本件に関するお問合せ：JAPIA東日本支部 坪井 tsuboi@japia.or.jp

講演概要・講師略歴

演題：三井化学のバイオマス・リサイクルの取組み～世界を素からかえていく～

講師：三井化学(株) グリーンケミカル事業推進室 ビジネス・ディベロップメントグループ 松永有理 氏

講演概要

プラスチックは私たちの日常のいたるところで活躍している素材ですが、地球温暖化やごみ問題を背景にプラスチックの課題が叫ばれています。欧州でのELV規則案の議論が進む中、自動車部品の環境対応も重要性が増してきています。

また、欧州CSRDや日本のSSBJなど非財務情報開示に関する市場からの要請も強く、それに伴いScope3の削減がより一層重要度を増してきます。

三井化学グループでは、「素材の素材までかんがえる」をキーワードに、脱プラならぬ「改プラ」を目指して、バイオマス化・リサイクル（マテリアル・ケミカル）の取組みを通してお客様のScope3削減やリサイクル率向上に貢献していきます。こうしたバリューチェーン連携した社会変革を、自動車部品業界のみなさまとのコラボレーションで実現していけたら幸いです。



< 講師略歴 >

大学卒業後（環境経営専攻）、2002年三井化学入社。食品パッケージなどの素材であるポリオレフィン樹脂の営業・マーケティングを経て、2011年よりコーポレートコミュニケーション部（広報担当）。2021年4月にESG推進室にて三井化学グループのバイオマス・リサイクル素材のブランドを立ち上げ、2023年6月よりグリーンケミカル事業推進室にて同製品・コンセプトのブランディング及びマーケティングを担当。IMCに基づくデジタル及びオフライン両面でインサイドセールスからフィールドセールスまでコンセプトベースのマーケティング活動を幅広く展開。

また、2015年には組織横断的オープンラボラトリー「そざいの魅力ラボ（MOLp®）」を立ち上げ、B2B企業における新しいブランディング・PRの形を実践している。

PRSJ認定PRプランナー。MOLp®の活動を通して2018年グッドデザイン賞ベスト100、2018トレたま年間大賞(テレビ東京WBS)、Japan Branding Awards2021「Rising Stars」賞受賞。